

## ウェディングドレスショーを開催

平成24年1月24日(火)ポートアイランドキャンパスA館のエントランス正面の階段(通称シンデレラ階段)において、神戸女子短期大学総合生活学科 被服製作ゼミ主催のウェディングドレスショーが開催されました。古田 貴美子専任講師のもと、ゼミの学生14名が、総合生活演習の1年間の学習の成果としてウェディングドレスを披露しました。

学生たちはそれぞれに個性あふれるドレスをデザインし、イメージに合った素材を選び、世界にひとつだけの自分のドレスを作り上げました。

神戸女子短期大学 長瀬 荘一学長をはじめ男性教職員にエスコートされシンデレラ階段を降りていく学生の表情は誇らしげで、見学に来ていた学生たちからは「あのかわいいドレスが着たい」という声があがっていました。



ショーの後、シンデレラ階段前で記念撮影

## きものショー「きものくり～敦盛から始まる～」を開催



きもの原型を借用した平敦盛(中央) 浮世絵を参考にしたうすもの美人(中央右)

平成24年2月19日(日)神戸市須磨区離宮西町の神戸迎賓館ヴィスカヤガーデンにおいて、神戸女子大学家政学部 家政学科 被服平面構成研究室(岡本 陽子教授)主催のきものショー「きものくり～敦盛から始まる～」が開催されました。

オープニングでは、大陸の影響から脱却して、きもの原型が平安時代に確立したことから、須磨にゆかりの「平敦盛」が、学生手作りの“きもの原型”の装束で登場しました。気品溢れる衣装と、モデル学生の凛とした美しい姿に観客は目を奪われました。

第1部では「うすもの美人～夏の涼装～」と題して、節電に対する知恵を昔の衣生活に求めた事の説明の後、「明石縮」が登場しました。

第2部では「おでかけ日和～ちょっとそこまで～」と題して、アンティークきものブームのきっかけとなった「銘仙きもの」の模様に関する研究成果を紹介し、数々の「銘仙きもの」が登場しました。さらに、銘仙きものをアレンジした新しい着こなしも紹介しました。

定員150名の会場は立ち見の観客がでるほどの賑わいを見せ、華やかでありながら上品なきもののもつ魅力を十分に堪能できるショーとなりました。



新潟県の生産者から借用した明石縮



戦後の銘仙きものを着て続々と登場する学生



昭和30年代の雑誌を参考にポーズする学生



## 入学を祝う 歓迎セレモニー

### 神戸女子大学

平成24年4月4日(水)神戸ポートピアホールにおいて平成24年度入学式を挙行了しました。

式典後は、同好会「放送研究会SGBC」の司会・進行による「歓迎セレモニー」が開催されました。大学紹介、各学科の先輩からのメッセージ、神戸女子大学管弦楽団によるミニ・コンサートなど、あたたかな気持ちが伝わる手作りの歓迎セレモニーとなりました。



歓迎セレモニー ミニコンサートの様子

### 神戸女子短期大学

平成24年4月3日(火)神戸ポートピアホールにおいて第63回入学式を挙行了しました。

入学式終了後、歓迎セレモニーとして、指揮・延原 武春氏のテレマン室内オーケストラ(大阪市)による「歓迎コンサート」を開催し、学生生活のスタートに華をそえました。



テレマン室内オーケストラによる演奏

## 神戸市立須磨離宮公園で家政学部家政学科のオリエンテーリング開催

平成24年4月19日(木)神戸市立須磨離宮公園で神戸女子大学家政学部 家政学科の専門科目「家政学を学ぶ」(注1)の第2回の授業で、1年生全員104名、サポーターの上級生15名、家政学科の教員と助手17名でオリエンテーリングが行われました。

家政学科では平成12年から毎年入学直後のこの時期に、新入生と教員の親睦をはかり、学生同士のコミュニケーションを深めるために、離宮公園でオリエンテーリングが行われています(注2)。

当日は天候に恵まれ、真っ赤なチューリップが満開の園内で、最初に山村 治園長から離宮公園の沿革や見どころについての説明をしていただきました。

グループに別れて昼食後、オリエンテーリングが始まりました。所定の時間内にチェックポイントを回り、ポイントに待機した教員のクイズに正解すると、教員とじゃんけんする権利を獲得、その勝ち負けで得点を付け、所要時間で順位が決まります。

当日は休園中、この授業のために入園を許可され、広い離宮公園を汗ばみながら隅々まで歩くうちに学生同士は一層親しくなり、教員との会話もはずみました。最後に高得点の3グループに記念品が贈られ終了となりました。

離宮公園の美しいたたずまいは、学生、教職員の癒しの場としての効果が絶大であり、特に住空間を学ぶために入学した学生にとっては、都市における公園の効用について考えるきっかけとなったことでしょう。



山村 治園長から説明を受ける学生



オリエンテーリングの様子



家政学科1年生と教員の集合写真

(注1)家政学科の専門科目を多角的・総合的に学ぶ導入教育。毎週、グループに分かれて各研究室を巡回し、教員の専門分野について学ぶ。

(注2)神戸女子大学と神戸市立須磨離宮公園は、平成18年12月に協定を結んだ。隣接する地理的条件を生かし、本学の教職員と学生に離宮公園を教育・研究の場としての使用が承認されている。



## 英語演劇鑑賞の夕べ

### ウィリアム・シェイクスピア作「マクベス」公演

平成24年5月15日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて国際シアターカンパニー(International Theatre Company, London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作『マクベス』が、610名の観客をお迎えし上演されました。



ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催しており、観劇を楽しみにしていただいている方が多いイベントです。今年で7回目となります。英語英米文学科の学生が中心となって、看板作成、照明、アナウンス、受付といった運営を行いました。

『マクベス』のストーリーに相応しい迫力ある演技に目の離せない舞台となりました。今回の『マクベス』でシェイクスピアの4大悲劇は神戸女子大学で全て上演されたこととなります。



全て学生が運営しました(受付の様子)

## 神戸女子大学の学生のデザインによる「オリジナルワインラベル」が神戸6ホテル グランシェフ チャリティーランチに登場



ワインラベルのデザインをもつ村上さん

平成24年3月1日(木)～5月6日(日)の間、東日本大震災遺児支援のため「KOBEホテル6社会(注)」が企画するグランシェフ チャリティーランチと共に販売されたワインに、神戸女子大学家政学部 家政学科4年生の村上 綾美さんのデザインしたラベルが採用されました。昨年11月に学園内で募集したデザインのなかから、KOBEホテル6社会により選出されました。

村上さんは、この企画が「あしなが育英会」を通して東日本大震災遺児の支援に役立つことを聞き、阪神・淡路大震災から復興をとげた神戸の地から東日本復興の支援の一助となる事を願ってデザインしました。復興への道のりは木が成長する姿のようであり、デザインの中心を4色のハートの木としました。赤はポートタワー、緑は神戸市のマーク、青は錨、ピンクには人が手を取り合っている絵が描かれています。両脇には、パンを手にしたシェフたちが、ハートの木が大きく育ち、新たな芽が育つように愛を注ぐ構図とし、神戸から東日本の被災地への想いを表現しました。



グランシェフチャリティーランチで販売されたワイン

(注) KOBEホテル6社会(神戸6ホテル)とは

- ANAクラウンプラザホテル神戸
- 神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ
- 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
- オリエンタルホテル
- 神戸ポートピアホテル
- ホテルオークラ神戸